

ご厚志をありがとうございました

太陽設計 様
足利ガス 様
茄子のとも 様
菊屋 様
大穀 様
西武リース 様
玉淀観光 様
長谷部防災 様

㈱カイゴテック 様
㈱ケージーエム 様
武蔵野短期大学 様
岡村自動車 様
荒川青果 様
NPO法人 彩花 様
埼玉酪農協同組合 様

埼玉森林病院 様
松本自動車 様
社会福祉法人 万正会 様
㈱環境工学研究所 様
日本医療食研究所 様
栗原自動車 様
東京家政大学 様

ヤジマメンテナンス 様
あいおいニッセイ同和損保 様
ヘアサロン サポート 様
県西在宅クリニック熊谷 様
ケア・クロスくつろぎ 様
ヒューマンネット 様
東京成徳短期大学 様



【忘年会 ながい寮】

12月5日に忘年会を行いました。10月中旬から11月初旬にかけて、コロナウイルスによるクラスターが発生し、利用者さんをはじめ職員も大変な思いをしましたので、開催にあたり抗原検査の実施やマスクの着用など、感染症対策を徹底しての運びとなりました。

午前はお利用者さんによるカラオケ大会とお菓子配りが行われました。ご利用者さん一人一人の十八番を披露してもらい、楽しいひと時を過ごすことができました。

昼食はピザ、フライドポテト、チキンナゲット、たらこスパゲッティ、ミネストローネが提供され忘

年会ならではのメニューということもあり、ご利用者さんもお酒を飲みながら美味しく召し上がっていただきました。

午後は職員の出し物をメインに「おかあさんといっしょ」をテーマに職員がなりきり、歌の披露や合間にミニゲームを行いました。終始ご利用者さんの笑い声などが聞かれ楽しく過ごされました。

最後に今年度の外出や行事で撮影した写真をスライドショーで観てもらいました。忘年会開催にあたり毎年楽しいご報告ができますように今後とも感染症対策をしっかりしていこうと思います。（佐藤）



社会福祉法人 むさしの郷 事業所一覧 <https://www.musashinogou.com> むさしの郷 検索

□ 障がい者支援施設 ながい寮 ・ 法人本部 ・ 相談支援センターいぶさ
〒360-0125 埼玉県熊谷市上恩田514-2
TEL 048-598-7007
FAX 048-598-7008
Email honbu@musashinogou.com

□ 障がい者支援施設 むさしの青年寮
〒355-0008 埼玉県東松山市大谷4730
TEL 0493-39-1895
FAX 0493-39-1380
Email seinen@musashinogou.com

□ 障がい福祉サービス事業所 けやき寮
〒360-0211 埼玉県熊谷市善ヶ島3310-1
TEL 048-588-1358
FAX 048-588-8830
Email keyaki@musashinogou.com

□ 共同生活援助事業 未来ホーム（グループホーム）
〒360-0203 埼玉県熊谷市弥藤吾578-18
【コスモスホーム、未来ホーム、一路ホーム】

社会福祉法人 むさしの郷
〒360-0125 埼玉県熊谷市上恩田 514-2
TEL048-598-7007
Mail : honbu@musashinogou.com
Web : <https://www.musashinogou.com>



「音楽の力」 ～ 管理者 中野 陽子 ～
皆様、あけましておめでとうございます。

今年も利用者の皆さんの笑顔に励まされ、背中を押して頂きながら1年間頑張っていきたいと思っております。「音を楽しむ」と書いて音楽。

利用者さんの多くが子どもの頃からご家庭や学校で様々な音楽に接して育ってこられています。「音楽療法」と呼ばれる分野が確立する程「音楽」は障がいのある方、認知症の高齢者の方などに良い影響を与えることができるものだと言われています。

25年程前、入所したばかりの利用者さんを担当しどのようにコミュニケーションを取ろうかと毎日が手探りだったある日、廊下を歩いていたら「上を向いて歩こう」の綺麗なメロディーが聞こえてきました。その方がお部屋の中でひとり鼻歌を歌っていたのです。「歌が好きなんだ！」支援の手がかりが見つかった瞬間でした。その日から、笑顔になってくれるのが嬉しくて次から次へと童謡を歌って聴かせたり、色々なジャンルのCDを用意して朝の目覚まし時計代わりに流したり…。

「どんな曲を知っているのだろうか」、「どんなメロディーが好きなのかな」、「音楽」がその方を理解し、言葉に頼らないコミュニケーションの手段として大きな助けとなりました。

さて、埼玉県では「アーティストボランティアコンサート事業」という、コンサートを実施したい施設や病院

と、ボランティアで演奏して下さるアーティストの方々とを結ぶ事業を長年実施しています。むさしの青年寮では、この事業を利用させて頂き、コロナ禍での中断はありましたが毎年4～5回のコンサートを開催しています。土曜日や日曜日の午後のひと時、食堂を会場に約1時間のコンサートを行います。弦楽器や管楽器のアンサンブル、バンド演奏、歌唱を中心としたグループ、和太鼓やオカリナ、毎回様々なアーティストの皆さんが、クラシック、歌謡曲、童謡やアニメソングに外国の民謡などこれまた様々なジャンルの曲を披露して下さいます。

コンサートの楽しみ方は人それぞれ。掛け声や手拍子で盛り上げてくれる方、身体を揺らしジャンプをして全身で音楽を感じている方、知っている曲と一緒に歌ってくれる方、ニコニコ静かに演奏に聴き入っている方、指揮者の様に音楽に合わせて腕を振っている方、終了後のアーティストの皆さんとの握手や記念撮影が楽しみな方。一般に行われるコンサートにはなかなかお連れすることができませんが、この「むさしの青年寮ボランティアコンサート」は声を出しても、席を立って歩いても、途中で退室しても、途中から参加しても、はたまた素敵な音楽にリラックスしてすっかり夢の中という方もいますし、「今日は気分じゃない！」と不参加でも全てOK！

カラオケやテレビ、CDを聴くのと一味違った“生演奏”は、楽器や歌唱の音色を通して何かを聴く人の心に届け、その人の心を動かす不思議な力があると思います。この様なコンサートの機会を作って下さっている埼玉県文化振興課とボランティアアーティストの皆様から感謝し、今年もまた素敵な音楽を利用者の皆さんと共に楽しみたいと思っています。

「学びの 1 年」 (むさしの青年寮 主任 飯野)

新年あけましておめでとうございます。昨年も沢山の
人に支えられて無事に乗り切ることが出来ました。この
場を借りて感謝申し上げます。今年も 1 年笑顔で過ごし
ましょう！

さて、年の瀬の我が家の大掃除の話をします。築 20 年
を過ぎた我が家は、年季を十分に感じる程までになって
きました。これからお世話になる大切な我が家に感謝
を込めながらの大掃除です。毎年 11 月から掃除が始まる
のですが、全ては妻の一声で開始されます。役割は事前
に分担されており、私は従ってやるのみでございます。
その中でも時間がかかるのが真っ黒になった外の階段や
駐車場。1 年の土や泥が付いて滑りやすくなっており高
圧洗浄機を使って少しずつ汚れを取っていきます。一通
り汚れを落とすとざらざらとした本来の素材が表面に出
てくるのが嬉しく、あたかも砂浜にいるかのような感覚
に陥り眩しくも感じます。始める前はものすごく面倒に
感じますが、変わっていくこの『感覚』が私は好きなの
です。

ここで『感覚』に少し触れてみたいと思います。大き
な声では言えませんが、私はピーマンが大の苦手であり
ます。苦いかなのか？臭いが独特だからなのか？それ
とも食感なのか？ハッキリと明確に伝えることができな
いのですが、全部のような気がします。説明できない何
かがある恐ろしいピーマンなのです。

利用者さんとの関わりの中でも、この説明できない『感
覚』のような何かにより「あれ？」という違和感に気づ
くことも少なくはありません。でも、何が？と聞かれる
と答えることが難しく、表情、息遣い、足音、仕草、瞬
きなど様々なものから感じ取るイメージです。『塵も積も
れば山となる』という言葉がありますが、長年積み重ね
て来た利用者さんとの時間は大切な財産です。しかし、
いつもこう対応している、これは大丈夫という慣れた『感
覚』に囚われすぎてしまうと大事なサインを見落とすこ
ともにも繋がります。

さて、今年も新しい 1 年がはじまりました。慣れた『感

覚』をもう 1 度見直し初心に返って利用者さんとの関わ
りが適切なものか、何か見落としていないか新たな気持
ちで見てみようと考えています。1 度『感覚』を綺麗に
してみるのもいいかもしれません。皆様も利用者さんとの
関わりに迷ったら、少し違った見方をしてみてはどうで
しょうか？

これは我が家を掃除して綺麗になった階段や駐車場を
見て思ったことです。次回の大掃除までにまた感覚を一
つずつ積み重ねていこうと思います。もしかしたらピー
マンのいいところも見つかるかもしれません。こんな私
ですが今年もどうぞよろしくをお願いします。



<ファミリー旅行> むさしの青年寮

12 月 6 日にすずらんファミリー旅行(群馬県)に行
きました。すずらん利用者の方は、食べることを楽しみ
にしている方が多く、味覚狩りができない時期なので、
豪華な昼食になるよう計画しました。

コースは青年寮→群馬県立自然史博物館→橘源氏庵
(昼食)→めんたいパーク→花園フォレスト(おやつ)
→青年寮です。

12 月でしたが思っていたよりも暖かく、紅葉も見られ
て気持ち良かったです。「利用者の方が真剣に博物館
の展示物を見ている、これに興味があったのか」など、
新たな一面を見ることができた楽しい旅行でした。そし
て何より利用者の方の笑顔がとても多かったです。

私事ですが大事な日に何かが起こることが多く、今回
の旅行が無事に行われるか、とても心配でした。雨や臨
時休業、感染症など、考えればキリがなかったですが、
私以外の参加者の方で幸運な方がいたのでしょう。誰だ
ったのか…ありがとうございます！（福島）

7 年間を振り返って (ながい寮 新井)

私がむさしの郷に入社して 7 年という長い年月が経ち
ました。入社のきっかけは父親が別の福祉施設で働いて
いるというものでした。当時の私は大学 4 年目。福祉学
科で学んだことを活かして福祉系の施設へ就職するつも
りでしたが、自分に合うところがなかなか見つから
ずに悩んでいる時でした。そんな時に父との会話で「雰
囲気も良いところだから試しに面接に行ってみれば」と
言われたことでした。

入社して 1 年目は利用者さんとの接し方や対応、業務
など覚えることが多くとても大変でした。また私の性
格上コミュニケーションが得意ではないので勤務に憂鬱
な時期が続いてしまった時期がありました。

そんな中、先輩から「大丈夫？何かあったら何でも聞
いて」と声をかけていただき、何気ない言葉でしたが、
当時の自分にはその一言が何よりも励みになってもう一
度頑張ってみようと思ったことを今でも鮮明に覚えて
います。

2 年目以降になると業務にも余裕を持つことができ
「利用者さんに何をしたら喜んでもらえるかな？」と考
える様になりました。始めは不安でしたが先輩のアドバ
イスを聞いて自分なりに落とし込んで支援ができる様
になりました。ある日、利用者さんから「ありがとう」と
言われ、辞めずに続けて良かったとその時思いました。

3 年目には夏祭りの出し物に初めて参加することにな
りました。内気な性格とあがり症なこともあって表舞台
に立つことは消極的でありました。でも利用者さんが喜
んでくれる姿を見たくて一生懸命に練習し無事にやり切
ることができました。

7 年目の今年は夏祭りの行事担当のリーダーに選ばれ、
拙い部分は多くありましたが、皆様のご協力で無事に
大きなイベントを乗り切る事ができました。

今でも学ぶことが多くあってまだまだご迷惑をおかけ
することがありますが、1 年目に氣遣って頂いた先輩の
言葉を今でも思い出します。あの時に声をかけて貰えな
かったら以前の自分のままだったかも知れません。今ま

でながい寮の支援員として培ってきた経験を活かし今後
の支援に繋げていきたいと思います。



<川の博物館見学> けやき寮

利用者の皆さんが楽しみにしていた外出行事、当日は
気温が低く風も強かったのですが、屋内展示の見所も多
く防寒対策もあって、寒さを気にすることなく過ごすこ
とができました。

本館ではパノラマ映像「あさぎ」の鑑賞、荒川の四季
折々の自然や職員さんによる荷船解説、実物大模型の荷
船の上では映像に合わせて荒川舟運の役割を学び、水桶
を担いでの重さの体験では楽しそうに参加される利用者
さんの姿も見られました。

他にも水車小屋では水の力で動くメカニズムと活用方
法、溪流観察窓でヤマメやイワナの泳ぐ姿、荒川大模型
の大パノラマをウォーキング等、皆さん班ごとにゆっく
り過ごされており良い気分転換になったのではないと思
います。

昼食は籠原にあるとんぶみさんと、埼玉県産ブランド"
彩の国黒豚"を使ったロースかつやハンバーグなどを堪能
し「美味しかった」と笑顔が多く見られました。そん
な利用者さん達の姿を見る事が出来たのも、川の博物館
さん、とんぶみさんをはじめ、保護者の皆様からのご厚
志のおかげです。次回も利用者の皆様の笑顔が見られる
様な行事を計画していけたらと思います。(萩原)

